



JAL × 東京大学産学協創推進本部／“Todai to Texas” 未来を担う学生たちの 夢と挑戦を支援しています！

JALは各分野で未来や世界に果敢に挑戦する方々を応援する活動を行っています。そのなかでも今回は東京大学産学協創推進本部との取り組みをご紹介します。



東大発起業、ベンチャー支援 イノベーション創出を応援

東京大学産学協創推進本部は、東京大学発起業支援を主旨として、2005年から学生向けの起業家教育プログラム「アントレプレナー道場」を開始し、ここ11年間にわたり、2000人以上の学生たちが受講してきました。今年2月には同プロジェクトの一環として、中国のトップ校である北京大学主催の学内ビジネスプランコンテスト上位8名の学生を招き、東京大学アントレプレナー道場で優秀な成績を修めた上位4チームの合計14名を4班に分けてアイデアソン※を実施。JALもこの企画に参画し、「JALの中国発個人旅客の取り込み戦略」を事業課題として設定し、両校の学生が1日半の短期決戦で知恵を振り絞り、班ごとに事業戦略をまとめました。

発表会では、各班の代表が中国の若年層マーケットの分析を基に、日本への渡航ならびに滞在中のバリアフリープラン、ソーシャルメディアの活用などを盛り込んだプランなど、ダイナミックなプレゼンテーションを披露。その後、東京大学産学協創推進本部とJALの代表メンバーによる審査と講評を行い、熱い2日間を終了しました。日中両国を代表する学生が混成チームによる事業課題解決を通じて、互いの競争と交流のなかで考え方の多様性を感じ取り、起業家的な資質を育む取



1班当たり発表5分、質疑応答10分。ユニークなプランも披露されました。

※アイデアソン (Ideathon) とは、アイデア (Idea) とマラソン (Marathon) を掛け合わせた造語で、ある特定のテーマについて多様性のあるメンバーが集まり、対話を通じて新たなアイデア創出やアクションプラン、ビジネスモデルの構築などを短期間で行うイベントを指す。

り組みとなりました。JALも両国を結ぶ懸け橋となり、今後両国から多数創出されるビジネスプランや文化交流を促進する取り組みの試金石となりました。

グローバルなステージへの チャレンジをサポート

もう一つの取り組みが「Todai to Texas」への支援です。Todai to Texasとは、東京大学関連のスタートアップ企業がベンチャーの聖地の一つであるSXSW (South by Southwest) のTrade Show (見本市) に出展することにより、グローバルに視野を広げ、積極的に世界に挑戦することを目的とするプロジェクトです。激戦の国内選考を通過したチームは、東京大学およびTodai to

Texas運営事務局から、渡航・滞在・出展に係る費用と手続き、およびマーケティングの補助を受けることができます。

そして3月上旬、多くのメンバーがJALの協力によりダラスやシカゴ経由でオースティンを訪れました。SXSWの出展者は、多数のスタートアップ企業に加え、大企業や米国の大学、NASAなど多様です。ほかのビジネス展示会にはない特徴は、取材に集まるメディアの数に圧倒的に多く、多様であること、またインディーズの音楽祭を起源とすることから、洗練された大企業のプロダクトだけでなく、粗削りでも革新的なベンチャーのプロダク

トも大きく注目を集めることです。東京大学が、起業直前から直後の成長ステージにおける海外挑戦の場としてSXSWを選ぶ理由もここにあります。

SXSWがスタートアップ企業にとっての聖地の一つといわれる理由は、2007年に当時立ち上げ半年でユーザー数も少なかったツイッターがSXSWでプロモーションを行ったところ、来場者の情報交換ツールとして即座に利用され、それをきっかけに爆発的に世界に広まった事実があるためです。それ以来、世界各地の起業家が第二のツイッターを夢見てSXSWに集まってくるようになり、スタートアップ企業の登竜門的な存在に成長してき

ました。そして現在では、ベンチャーから大企業まで含めた挑戦的な製品のお披露目の場として、世界中が注目しています。

Todai to TexasがSXSWに挑戦し続けることで日本のイノベーターにも世界が注目を始めており、JALもその挑戦に共感し協力させていただきます。

将来有望な無限の可能性を秘めたこのプロジェクトから、グローバルな視点と先駆的なイノベーションによるJALの新しい商品やサービスが生まれる日も決して遠くない……。私たちはそう確信し、東京大学との取り組みを続けていきます。

「SXSW(South by Southwest)」とは？



毎年3月にアメリカテキサス州オースティン市で行われる、音楽祭・映画祭・インタラクティブフェスティバル(テクノロジー)などを組み合わせた大規模なイベント。Trade Showはその目玉の一つ。今年で30周年を迎える。

●現地レポート

熱気溢れる Todai to Texas ブース



上／合計8チームがTrade Showに出展。右／来客に説明する学生。4日間のTrade Showにはおよそ7万人の来場者が集まった(※2015年データ)。



東京大学(産学協創推進本部)
菅原 岳人 助教

「SXSWはテクノロジー、ビジネス、エンタメなど多種多様な分野の人々が一堂に会する大規模イベントで、イノベーション研究で著名なJ.シュンペーターが唱える『新結合』が生じる場です。東大として3度目となる今回の出展でも、デモ展示を見た来場者から即時発注希望があった企業、大手メディアに掲載されて世界中から問い合わせが殺到した学生チーム、偶然立ち寄った超有名ミュージシャンの目に留まり展示品を使ったライブを行ったチームなどが生まれました。JALとの産学協創が若い挑戦者の飛躍のきっかけとなったことを、嬉しく思っております」